

んでおります。さらに、学習指導で特別な教育的支援が必要な生徒のため、引き続き特別支援員も配置してまいります。

本校の特色ある取り組みへの助成としましては、各種検定の検定料、平成25年4月にホームヘルパー2級から移行する介護職員初任者研修の受講料の補助や通学費の助成を引き続き行つてまいります。

国際理解教育として進めております国際交流派遣事業は、意欲ある生徒が海外における体験交流を通して語学力の向上、国際感覚を養い精神的にも成長するとともに、報告会を実施することにより周囲の生徒にも良い影響を与えていることから、平成25年度も継続して実施いたします。

大学との連携については、昨年に引き続き北海道教育大学岩見沢校や札幌国際大学とも協定を締結してきているところであり、大学生の教育実習や相互の授業交流などにより、生徒の学力及び学習意欲の向上にも結びつくものと考え推進してまいります。

新たな高齢者大学の在り方を模索する時期にきていますので社会教育委員会を中心に検討を開始してまいります。

**語学教室の開催**

町民の国際理解と語学力の向上のために開設してまいります、英会話教室につきましても従来の講師に引き続き事業の実施を依頼し継続的な語学教育を展開してまいります。

**芸術文化の振興**

次に、芸術文化の振興についてですが、生活水準の向上や余暇時間の増大に伴い、心の豊かさを求め、趣味の学習や文化活動に対する関心が高まってきているところから、文化協会を中心とした団体・サークルへの支援を継続して行い、さらに、鑑賞事業の充実を図ってまいります。

**読書活動の推進**

読書活動の推進につきましては、平成22年度に策定した読書推進計画に基づき、「子ども絵本まつり」の開催と家庭において幼児期の親子のふれあいと絆を深めていただく

疎化に伴い学齢人口の減少のほか、学校選択の多様化など、本校への入学志願者は今後も厳しさを増すことが予想されることから、「高等学校運営協議会」や下部組織である「プロジェクト検討会議」の意見を踏まえ、中学生やその保護者に対する説明会や進路相談会を開催し、南富良野高等学校の特色ある教育活動への理解を深めていただくよう更なる努力をしてまいります。

**社会教育**

次に、社会教育の推進であります。今日的な人口の減少、少子高齢化や国際化・情報化の中で、本町の豊かな自然や歴史・文化などを活用して、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、子どもから大人まで、時間的、精神的ゆとりの中で、いつでも、どこでも、だれもが自由に学ぶことができる環境づくりに配慮してまいります。

特に、平成25年度は、第6次社会教育中期計画を平成25



子ども絵本まつりの様子

ための「ブックスタート事業」を絵本の読み聞かせなどと併せて本年度も継続するとともに、各学校での一斉読書を推進し、読書習慣の定着を図ってまいります。

また、保健福祉センターの図書室については、多くの方々に利用していただくため、ボランティア団体と連携した蔵書整理と環境整備に取り組み、利用者ニーズに合った図書の実践に努め、富良野沿線5市町村で行なっております視聴覚ライブラリーとしてのビデオ・DVDの貸出や広域連携の取組みによる、圏域市町村住民にも蔵書の貸し出しを行ってまいります。

**公民館活動の充実**

公民館施設につきましては、

年2月に策定し、その実施の初年度となることから町民の皆さんが心豊かで充実した生活が送れるよう具体的施策を展開してまいります。

**家庭教育の推進**

家庭教育についてでありますが、核家族化や少子化の進行、共働き家庭が増加する中、家庭における教育力が低下していると言われており、社会教育の領域においても大きな課題となっておりますことから、家庭教育力の向上を図るため、引き続き家庭教育支援講座の開催、子育てのための学習機会や情報交換の場を提供してまいります。

**青少年の健全育成**

青少年の健全育成でありますが、依然として非行や犯罪が低年齢化しているなど青少年をめぐる問題が深刻になっており、このような社会的問題は、親などの大人の言動や姿勢、情報規制など社会のあり方が大きく反映していると言われておりますので、学校、家庭、地域が相互に連携した、自然や人々とのふれあいなど

不具合箇所の修繕を随時実施しておりますが、平成25年度におきましても金山地区コミュニティセンター内トイレの改修を図り、より利用しやすい環境づくりに努めてまいります。

**学習活動の支援**

住民自主企画活動支援事業につきましては、住民が必要とする多様な学習形態に対応した事業であり、これまで様々な「講演会」や「体験ワークショップ」を交えた「コンサート」の開催など多様な分野において事業が開催され、日常生活の課題解決や健康増進、コミュニティ活動の推進などに成果がありますので、平成25年度においても生涯学習の一環として引き続き住民の自主的活動を支援してまいります。

**郷土学習の推進**

町内の歴史の跡である史跡については、平成20年度に史

活動機会の提供に努めてまいります。

**交流事業の推進**

友好の町「沖縄県本部町」との親善交流事業につきましては、23回目を迎えており、多くの子ども達による交流が行われてきております。北と南の子ども達の友情の輪の拡大と風土、歴史、文化の違いを自ら体験し学ぶことは極めて貴重であり、この事業を通じて両町のホームステイによる家族間相互交流も芽生え、また継続されるなど交流の輪が広がっていることから、今



本部町児童との交流の様子

**成人教育の充実**

成人教育についてでありますが、成人期は、家庭、職場、地域社会において中心的な役割を担っている世代であり、働く女性の増加に伴い、女性の社会参加も拡大されてきておりますので、幅広い学習活動の提供に努めるほか、各種団体の育成と自主的な活動に引き続き支援してまいります。

**高齢者大学の充実**

千里大学につきましては、それぞれの課程の中で、自己を豊かにし、生きがいや楽しみを求めて意欲的に学習活動を展開しておりますので、引き続き学習内容の充実に配慮してまいりますとともに、高齢者の持つ豊かな生活体験や人生経験を活かす機会の場を提供するよう努めてまいります。

跡マップを作成したところでありますが、平成23年度より年次的に標柱を設置するとともに、史跡めぐりを継続して開催し、郷土学習の推進を図ってまいります。

**スポーツの振興**

次に、体育、スポーツの振興についてであります。町民、だれもが心身ともに健康で明るく充実した生活を維持していくために、各自の体力や能力にあったスポーツを楽しむ、生活の中に積極的に取り入れて行くことが大切であると考えますので、スポーツ推進委員及び町体育協会・総合型地域スポーツクラブ「ゆつく」などの外、体育関係団体などの連携と協力をいただきながら、引き続き各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催するとともに、昨年度に引き続き「町民フロアカーリング大会」を開催し、町民の健康増進や体力づくりに配慮してまいります。

また、町民が各種スポーツ競技の全道大会、あるいは全国・国際大会等に出場する経費の一部を補助し、競技選手

の育成と町民のスポーツ活動への意識高揚を図ることを目的とした「アスリート派遣補助金」制度を創設いたしました。本年度においてもスポーツの技術力向上のため、アスリートの育成に必要な支援を継続してまいります。

各スポーツ少年団の活動は、年々活発化し各種大会で好成績を収めるなど、成果を上げていただいているところであり、大会参加のための保護者負担が増加している状況でありますので、スポーツを通して子ども達の心身の健全な育成を図るとともに支援を行ってまいります。

以上、平成25年度の教育行政の執行に対する方針を申し上げますが、教育委員会としましては、課せられた使命や責任を深く認識して、町民皆さまの負託にこたえるため、町をはじめ教育関係者と相携えて最善の努力をしてまいりますので、議員各位、並びに町民皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。